

米袋接写  お米接写	0607	N 植田さんが行うのは「コウノトリを育む農法」、と呼ばれているもの。無農薬で安全安心なお米を消費者に届けようと、JAたじま、豊岡市、そして生産者が一体となって、今も試験研究が続けられています。
看板	0633	N しかし、そもそもなぜコウノトリなのでしょうか？その答えは、街中いたるところで目にするコウノトリの看板や、オブジェにありました。
コウノトリの郷公園 見物客 園内のコウノトリ	0649 0654 0659	N 豊岡のシンボルとも言える、コウノトリ。 N 体長およそ1.1メートル、羽を広げると2メートルにも及ぶ、巨大な肉食の鳥です。
写真  S46年絶滅  田んぼのコウノトリ	0713  0729  0743	N かつて日本のいたるところにいたコウノトリですが、農薬の使用によって環境は激変、田んぼや川の生き物は死に、それをエサとするコウノトリも絶滅してしまいました。 N しかし、豊岡では40年以上の長い年月をかけて人工飼育に取り組み、放鳥に成功。コウノトリが野生に復帰しました。 N 今では90羽以上が大自然、そして田んぼの中で暮らしています。
	0751	コウノトリ湿地ネット代表・佐竹節夫さん 「人間が生業として、管理をして、活用している場所ですから、要はコウノトリの環境を守ったり作ったりするのが、全て人間のためになっている。その人間がちょっとした意識の違いだったり、生活様式を変えちゃうとコウノトリはいなくなったり、絶滅してしまうということですから、人間、住民がどう考えるかっていうのが、それが一番ですね。」
コウノトリ飛ぶ	0821	N コウノトリを野生に帰すだけでは何も変わらない、生活環境そのものを変えていかなくては、また同じことを繰り返すだけだ、豊岡の人々はそう考えまし

		た。コウノトリが未来永劫、生き続けることのできる環境...
カエル	0846	N 注目したのは、カエルでした。カエルが生きていくためにはそのエサとなる虫が存在しなくてはなりません。さらには虫が生息するための植物も...
コウノトリ	0858	N そうやって増えたカエルをコウノトリが食べる。生態系のピラミッドを再構築することが何よりも重要であると気づいたのです。